

みんなが
つながる

地域学校協働活動便り

NO.5

R4. 12. 23

青森県教育庁生涯学習課地域連携推進グループ

地域学校協働活動コーディネーターアドバイザー 工藤 知久子
Tel 017-734-9890 E-mail : chikuko_kudo@mx.pref.aomori.jp

前号でお伝えしたとおり、「学校を核とした地域づくり推進カンファレンス」は、できたての「地域学校協働活動ハンドブック実践編」を手に取りながら、これからの地域学校協働活動について考える研修会です。市町村教育委員会（地域学校協働活動担当者、コミュニティ・スクール担当者等）、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター、教職員、地域の方々など多くの皆様のご参加をお待ちしております。

地域学校協働活動に関わる皆様、今年一年、大変お世話になりました。来年も、皆様にとって、新たなチャレンジに向かい、充実した年になるように情報提供していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

参加申込
受付中

令和4年度 学校を核とした地域づくり推進事業

「学校を核とした地域づくり推進カンファレンス」開催

日時：令和5年2月9日（木）13:30～16:00

場所：青森県総合社会教育センター 大研修室

内容：基調講演「学校と地域が連携する意義とその方策」

講師：弘前大学教育学部 准教授 越村 康英氏

事例紹介・情報交換：「学校と地域が連携・協働する、私たちの取組

～『地域学校協働活動ハンドブック実践編』から～

事例発表：鶴田町教育委員会・つがる市教育委員会・青森市浦町中学校区

締切：令和5年1月26日（木）

申込先：青森県教育庁生涯学習課 地域連携推進グループ

TEL 017-734-9890 FAX 017-734-8272

E-mail : gakkochiiki-renkei@pref.aomori.lg.jp

担当：社会教育主事 田中

市町村教育委員会
の方は、可能な限り
1名以上の参加をお
願いします。

令和4年度 宮城県気仙沼市階上地区総合防災訓練



先月、宮城県気仙沼市立階上中学校主催による「階上地区総合防災訓練」が行われ、見学してきました。自治会やPTA、小学校等の参画を得た、地域づくりにもつながる活動でしたので、ご紹介します。

防災学習はどちらかというと体験することが主になってしまい、「体験して終わり」になりがちですが、階上中学校では、体験活動を必要最低限にしばっています。また、「探究活動を取り入れたアンケート調査」を行い、調査結果を今後の防災にどのように結びつけていくのか、地区住民とどのように防災に取り組むとよいのかを提案しています。

午前中は、自治会に分かれての訓練でした。サイレンが鳴ると、地区の避難所に小学生とその家族や中学生、地域住民が避難し、小・中学校の教員が点呼を取っていました。その後、自治会が発電機のデモンストレーションを行い、中学生が発電機の組み立てと操作を体験しました。また、小学生は、授業で作成した防災マップを、テレビの大型画面を用いて発表しました。

午後からは、中学校を会場とした避難所初期設営訓練です。全校生徒96名が6つの委員会に分かれ、分担して作業に取りかかりました。小学校6年生もそこに加わり、中学生の後ろ姿を見て自分の役割を探しているのが印象的でしたし、意見を出し合いながら実践する中学生も、小学生の時はこのようにしてきたことがうかがえます。中学生がファミリーテント60張を体育館にあっという間に設営したのは圧巻でした。

県、市、自治会、PTA、高校生（卒業生）と連携したこの活動を全員が大切にしてきたことが伝わります。何より、子どもたちの自主性、協調性を重んじて先生方の指示する声は聞こえてこないのが印象的でした。

東日本大震災後、時間と共に復興しつつあるまちは、世代交代しながら、いずれ子どもたちに託されます。地域の方々、学校、保護者と協働しながら、子どもたちを交えて防災体制を構築している階上地区の防災訓練は、地域学校協働活動のモデルとなる事例でした。



小学生の発表



ファミリーテント設営